Yamamura Salon

クラシックコンサートサロン

―― 左手のピアニスト・智内威雄と、その弟子の有馬圭亮による、新たな入門・初級・中級楽曲の初演演奏会 ――

智内が主導する片手演奏の普及活動の新たな試みとして、ベテランの邦人作曲家と、東京芸大を中心とする作曲専科の学生達と共に、入門・初級・中級の楽譜を作成しました。当コンサートは、その初演演奏会になります。演奏は、智内威雄と、その弟子の有馬圭亮で行われます。

智内威雄　ピアノ・リサイタル

2015年8月8日（土）

開場／午後1時半　開演／午後2時

前売り／2,000円（当日／2,500円）

主催・会場・お問合せ

／芦屋 山村サロン

智内威雄（ピアノ）

塩見允枝子：4つの小さなエチュード

橋爪皓佐：14個のモノクロームコレクション

石川潤：パッサカリアとフーガ

＊ ＊ ＊

有馬圭亮（ピアノ）

長谷部瑞季：かくれんぼ、一日のおわり、だるまさんが転んだ、波のさざめき

石坂真帆：くるみの花、春のめざめ、どっちにしようかな

永井みなみ：まつりだ！、おほしさまのワルツ、他

平野真奈：ありときりぎりす、おとぎのくに

〒659-0093 芦屋市船戸町A－1 301号 JR芦屋駅前 ラポルテ本館3階

YAMAMURA SALON:4-1-301, Funado-cho, Ashiya 659-0093 JAPAN.

TEL. 0797－38－2585　FAX. 0797－38－5252

「左手のピアノ曲」の歴史を紐解くと、後天的に障がいを患った特定のプロのピアニストが、再帰するために書かれた作品が多くある事に気付かされます。

古くはウィトゲンシュタイン氏、オタカー氏、最近ではフライシャー氏に舘野泉氏などがその例でしょう。

その特定のピアニストのために書かれた楽曲は、芸術性が高い作品である一方、初級者をはじめとするピアノ学習者には難易度の高いものでした。

我々は、片手のピアノ曲を必要とする人に、音楽を届けるための活動を行っています。

この分野に親しんでいただくために、片手演奏の普及を目指す入門・初級・中級、そして芸術作品の楽譜作りも行っています。

更にはワークショップやレッスンなどを通して、後進の指導・教育にも力を入れています。片手演奏の教育に力を入れた活動は、音楽史上類を見ない貴重な試みでもあります。

このように多くの人と喜びを共有する事で、彼らの希望が芸術に昇華され、そして過去に書かれてきた「左手のピアノ曲」が人類共有の財産として受け継がれていく事を確信します。今回はその新たな一歩となる演奏会です。どうぞご期待ください。

左手のピアニスト・智内威雄（ちないたけお）

智内威雄（ちないたけお）　東京音楽大学在学中にミラノにて研鑽を積む。卒業後、ドイツ国立ハノーバー音楽大学に入学、その間、グリーグ国際コンクールで特別賞、マルサラ国際音楽コンクール3位入賞等数々のコンクールにて入賞受賞。01年ジストニアが発症し休学・リハビリを開始する。03年よりドイツにて左手のピアニストとして活動を再開する。06年に広島交響楽団とラヴェルの「左手のための協奏曲」を共演し絶賛され、同年日本デビューをする。「左手のピアニスト」として驚異的なテクニックと深遠かつ豊かな音楽性で新境地を切り拓く。片手にハンディキャップをもつ演奏家に、音楽を続ける道を示す任意団体「左手のアーカイブ」プロジェクトを設立する。関西テレビ制作のドキュメンタリー番組、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、NHK（AM、FM、TV）等のメディア各社にて活動の特集が組まれる。13年にNHK・ETV特集にてドキュメンタリーが放送される。